

9月～11月のプログラム・教育

9月教育（林美代子）「災害時の対応」

ハザードマップ～災害関係冊子など数種類の資料を準備し、皆さんに説明しました。



9月プログラム（浦濱恭子）準備のいないワークショップ「自己紹介ー4つの扉」

（ITC-J 第36期教育資料委員会作）

クラブ員全員が自己紹介し、自分自身を効果的に相手に伝えます。まず、各自4つに分かれた記入シートに、自分をアピールするキーワードを4つ書きます。そのキーワードを使って1分で自己紹介をします。

短時間で客観的に、多角的に自分自身を分析できます。



10月教育（野村悠美・山田文子）「初心にもどってQ&A」

対話方式で伝達と儀典について、分かりやすく説明しました。



10月プログラム（谷間のり子）全員参加「お先に失礼」

3名が着席し、そのうちの1名が話の腰を折らない「気の利いた言葉」を言って、中座します。空いた席に新たに1名が着席し、別の1名が中座します。順番に中座していきます。後半は早い者勝ちで中座していくので、椅子取りゲームのような感覚で大騒ぎ！誰が最後に残るかな？



11月会員制の綿業会館にて野外例会

綿業会館は昭和6年（1931年）12月、日本綿業倶楽部の建物として竣工し、翌年1月1日に開館しました。設計は渡辺節氏が担当し、ヘッドドラフトマンには村野藤吾氏が参画しました。戦前の日本の近代美術建築の傑作と言われ、高く評価されています。重文指定の歴史的建造物について学び、おいしいフレンチに舌鼓を打ち、お客様をお迎えしたにぎやかな例会となりました。



*各部屋の窓に鋼鉄ワイヤー入り耐火ガラスを使用していたため、戦火をまぬがれました。